

● 〈多治米っ子大発見〉

①SDGsって何？

☞SDGsとは2030年までに解決しなければいけない環境問題や, 教育を受けられない子どもたちをなくすなどという17個の目標のことです。



SDGs採択時の国連の壁に施されたプロジェクトマッピング

②調べている目標

☞調べている目標は3の「すべての人に健康と福祉を」という目標で, そのことを調べていくうちに「UNICEF」という教育のうけられない子どもたちの向上などを目指している組織について調べたいとおもいました。



③アフリカなどの海外の子どもたちと私たち

海外の子どもたち

- ・教育をうけられていない子どもがいる。
- ・日本では簡単になおせる病気で死んでしまうことがある。
- ・5才の誕生日をむかえられずに死んでしまう子が約540万人以上いる。
- ・家庭のために働いている子どもがいる。

日本の子どもたち

- ・ちゃんと教育がうけられている。
- ・医療が発展し, 治る病気が増えている。
- ・水がきれい。
- ・食べ物をしっかり食べられている。

④海外の子どもたちの状況を知って思ったこと

海外の子どもたちの状況を知って、**なぜこんなに環境などの差がでてしまうのだろう?**と思いました。

例えば、この写真を見てください。



この写真にうつっている子は、食べ物をちゃんと食べられず、栄養失調になってしまった子です。

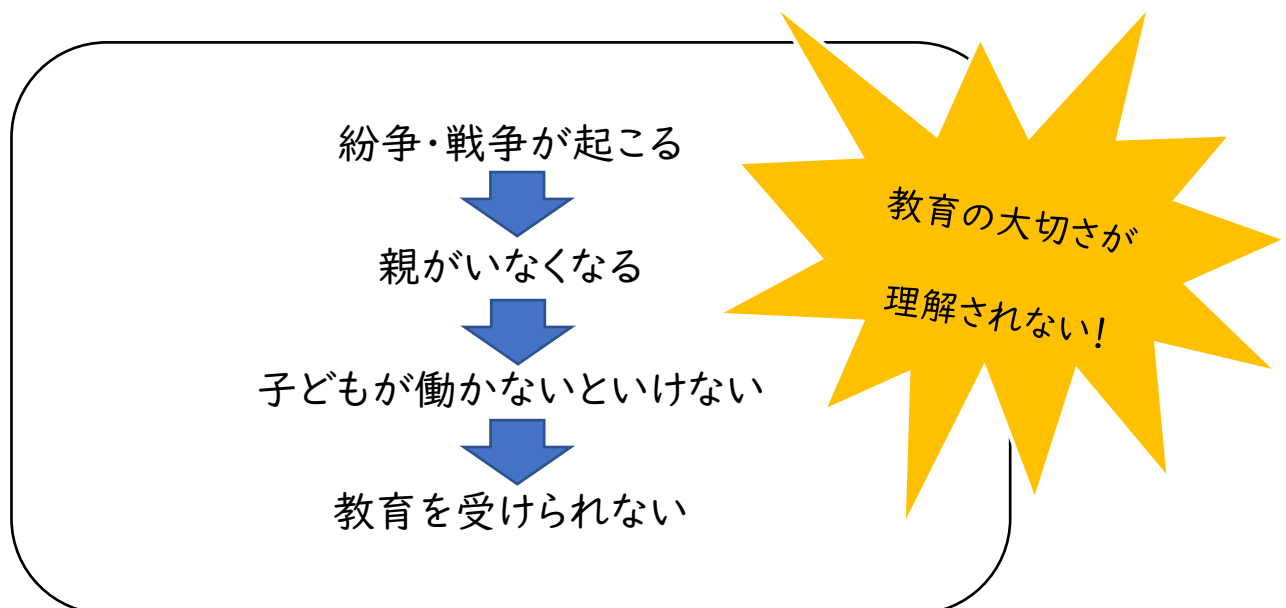
この日本でこんなにやせてしまった人は見たことがありません。このような写真や映像はテレビのCMなどで見たことがありますがSGDsについて調べる前は、真剣に考えていませんでした。そして、前の私のように

「知っているが、興味はない」

という人は多いのではないのでしょうか？

⑤なぜこんなに環境の差が出てしまうのか？

では、なぜこのような差が出てしまうのでしょうか。アフリカは世界の先進国に植民地化された過去があります。それが原因で民族同士の関係が安定しなくなってしまう、紛争や戦争という最悪な事態になってしまいました。戦争や紛争が起こってしまうと親と子がはなればなれになってしまったり、親を失ったりして、学費や教材費がなく、教育を受けられません。それが続くと、教育の大切さが理解されなくなっていってしまうのです。このような悪循環が続き、差が出てしまったのではないかと考えました。



⑥これから、どうしていけばいいのか？

～未来に向けて～(私たちになにができるのか)

☞一番伝えたいことは、海外の子どもたちを助ける方法は、**募金だけではない**ということです。例えば、自分が着られなくなってしまった服やくつを洋服のお店にある専用の箱に入れて寄付することができます。私も服を寄付するなど、できることからやっています。

2030年がよりよい未来になってもらうために、

できることから始めていきませんか？

